

第46回 愛知県障害者技能競技大会 縫製(知的障害)競技課題

課題 エプロン製作



1 競技時間:3時間 最大延長時間:30分(但し10点減点)

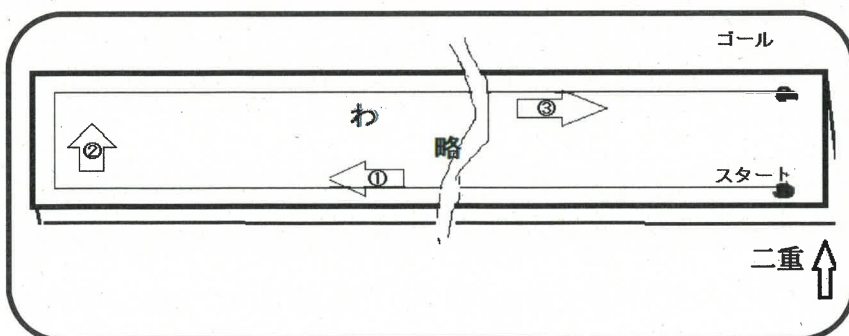
2 注意事項

- ① 各パーツの枚数や大きさを測定し、確認する。
- ② 各パーツの布地にアイロンをかけて地直しをし、表裏を区別して正確に組み立てる。
- ③ ポケットの印(穴)はあるが、必ず自分で実測(中心から8cm)する。
- ④ ミシン目の調整は、各自で確認する。(針目は3cmに16針目程度がめあす)
ミシンで不具合があった場合は、すぐに手を挙げ知らせる。
- ⑤ 支給材料は、材料に欠陥のない限り、再支給しない。
- ⑥ 競技中、工具類の貸し借りは禁止する。
- ⑦ 競技を終了する時は、手をあげ、競技役員に「終わりました。」と伝える。

3 製作手順

(1) ひも作り

- ① 長辺2か所と短辺1か所を1cmの縫い代で折り、成形する。(折り方は参考資料参照)
- ② ひものステッチは、2重になっているところからスタートする。コの字に端ミシン(端から0.2cm)とする。
- ③ 方向を変える時は、必ずミシン針をさしてから方向を変える。



※でき上がり寸法、

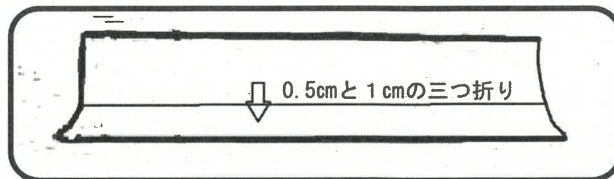
肩ひも2cmと

腰ひも4cmを確認する。

(2) 見返しつくり

見返しのすその部分を0.5cmと1cmに三つ折りをし、端ミシンをする。

※三つ折り幅は1cmあるか確認する。



(3) ポケットつくりと付け

① ポケット口を1cmと2cmの三つ折りをし、端ミシンをする。

※三つ折り幅は2cmあるか確認する。

② ポケットは、底→右わき→左わきの順番

で1cmに折って作る。ゆがみがなく、寸法が

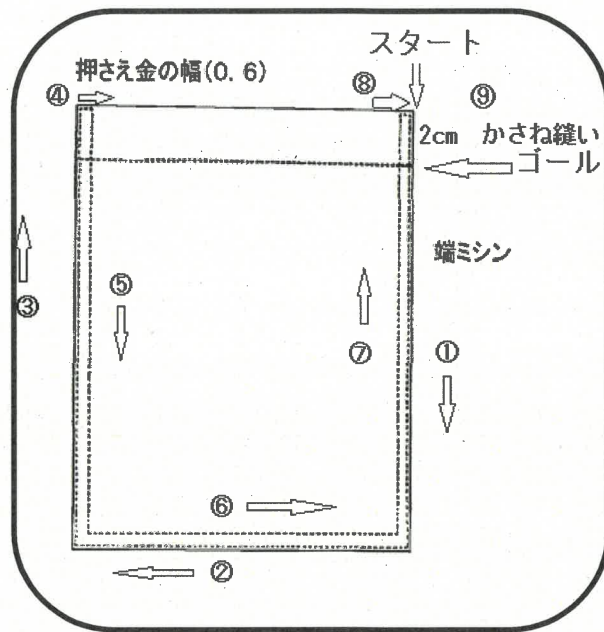
合っているか確認する。

③ ポケットの位置は、エプロン本体の中心か

ら8cmのところに(穴があるが各自確認す

る)ポケットの角がくるように置く。中心から

8cm(左右のポケット間16cm)を確認し、固定する。上の図を参照にステッチする。

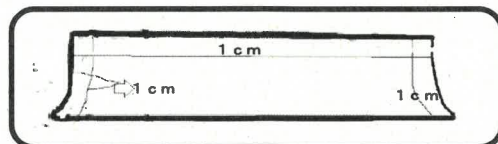


(4) すそ縫い

1cmと1.5cmの三つ折りをし、端ミシンをする。※三つ折り幅1.5cmあるか確認する。

(5) 見返しつけと袖ぐり

① 見返しに上、左右の三方に1cmの印をつける。



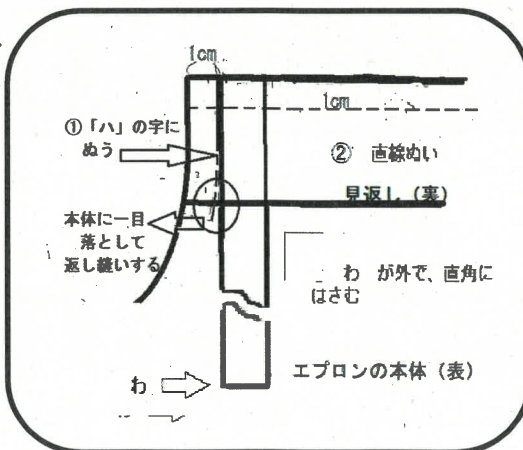
② エプロン本体の表に見返しは表を下に中表にし、

見返しの左右「ハ」の字に縫う。見返しのすそから

本体に一針ミシン目を落とし、返し縫いをする。

③ 肩ひもを「外わ」にし、直角になるようにまっすぐ

はさむ。



④ 上部1cmを直線でミシンをかける。

⑤ ④のミシン目に合わせてエプロン本体側に折り、蒸気アイロンをかける。

(角が厚いときは、ぬいしろの角を切って落ち着くようにする。)

⑥ ⑤をひっくり返し、角を出す。右の図のように端からひもが出ているかを確認する。

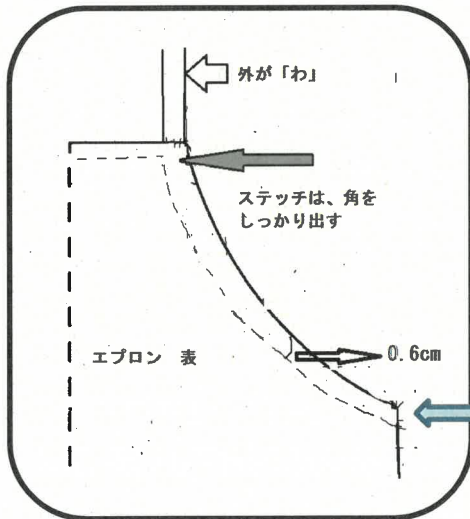
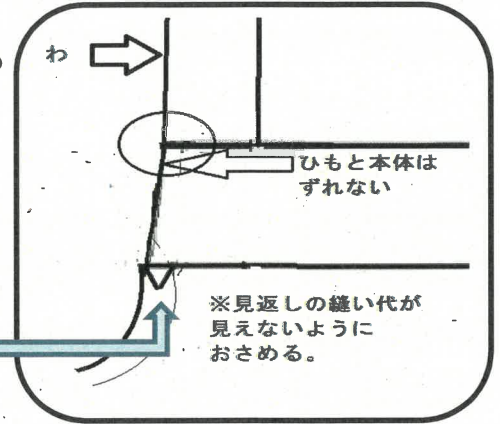
表から見返しがみえないように三角に出ている

部分を折り込み、アイロンで仕上げる。

※図のように見返しの端から出ている部分は、

見返しに折り込むかカットする。

見返しの幅が4cmあるか確認する。



⑥ 袖ぐりは、伸び止めテープのところ(ロックミシンのところ)を軽くつまみ伸ばしてなじませ、1cmに折る。

※テープのところを強くつまみ伸ばすと、伸び過ぎとなるので注意。

⑦ エプロン本体の表から、袖ぐりと見返しに左の図のように、ミシンの押さえ幅(0.6cm)で

ステッチをする。

(6) 脇の始末

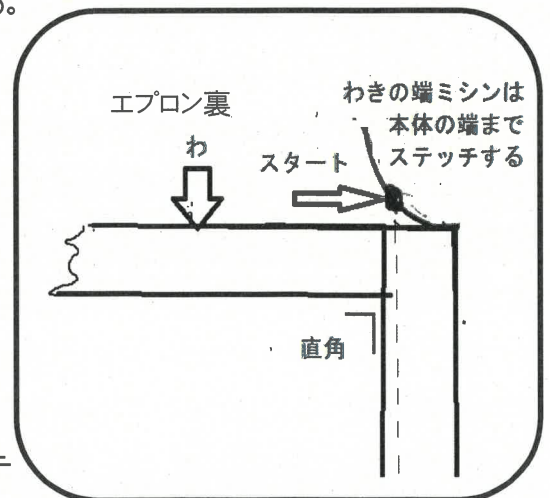
① 1cmと1.5cmの三つ折りをする。

※三つ折り幅は1.5cmあるか確認する。

② 腰ひもを上「わ」がくるように、腰ひもの角を

脇の角に合わせてはさみ込み、端ミシンでステ

ッチする。※ステッチは三つ折りの上、本体の端より延長したところから縫う。

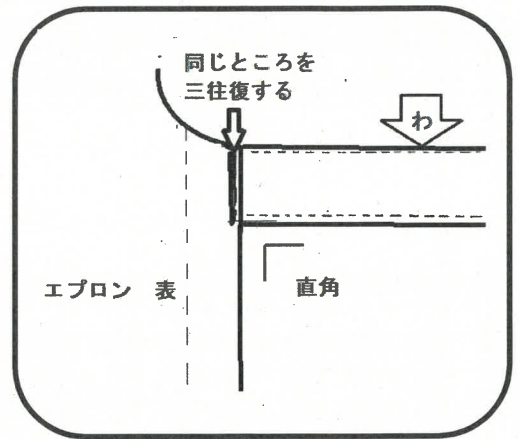


(7) ひも付け

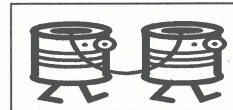
ひもを表に折り曲げ、待ち針を打ち、ひもの端に
3往復押さえステッチ(端ミシン)をする。

※押さえステッチは、重ねて同じところを縫う。

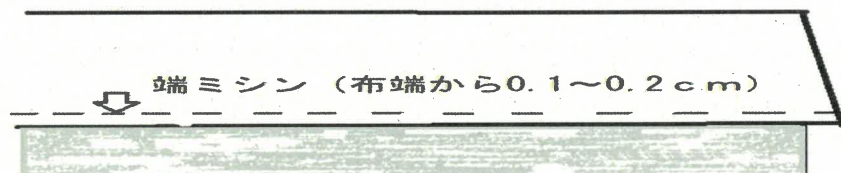
つか
お疲れさまでした。



き っ <気を付けましょう>



端ミシンは布の端から0.1~0.2 cmのところを、まっすぐ正確に縫う。



返し縫いは、きちんと重ねる。

縫い直しはなるべく行わない。ほどくと布地が傷み汚くなってしまふ。

一工程終わったらアイロンがけをし、必要のない糸は始末する。

糸くずなどのごみは、ごみ入れを持参して入れ、整理整頓を心掛ける。

道具は、安全に配慮した場所に置く。

ミシンとアイロンの電源スイッチの管理も行う。

落ち着いて作業に集中する。時間は自分で計画的に配分する。

競技時間を有効に使い、見直しやアイロンがけをしっかりと行う。

※ 競技時間内は、時間による採点はない

※ 作り方が不明なところは、主催者まで問い合わせください。

ほうせいぎょうぎしょうようぐいちらんひょう
縫製競技使用用具一覧表

1 競技者が持参するもの

持参する品名	規格	数量	備考
縫製用具類一式	適宜	適宜	裁ちばさみ、小ばさみ、自打ち ものさし、チャコ、ステッチ定規 他 必要な補助具等

2 競技場に準備してあるもの

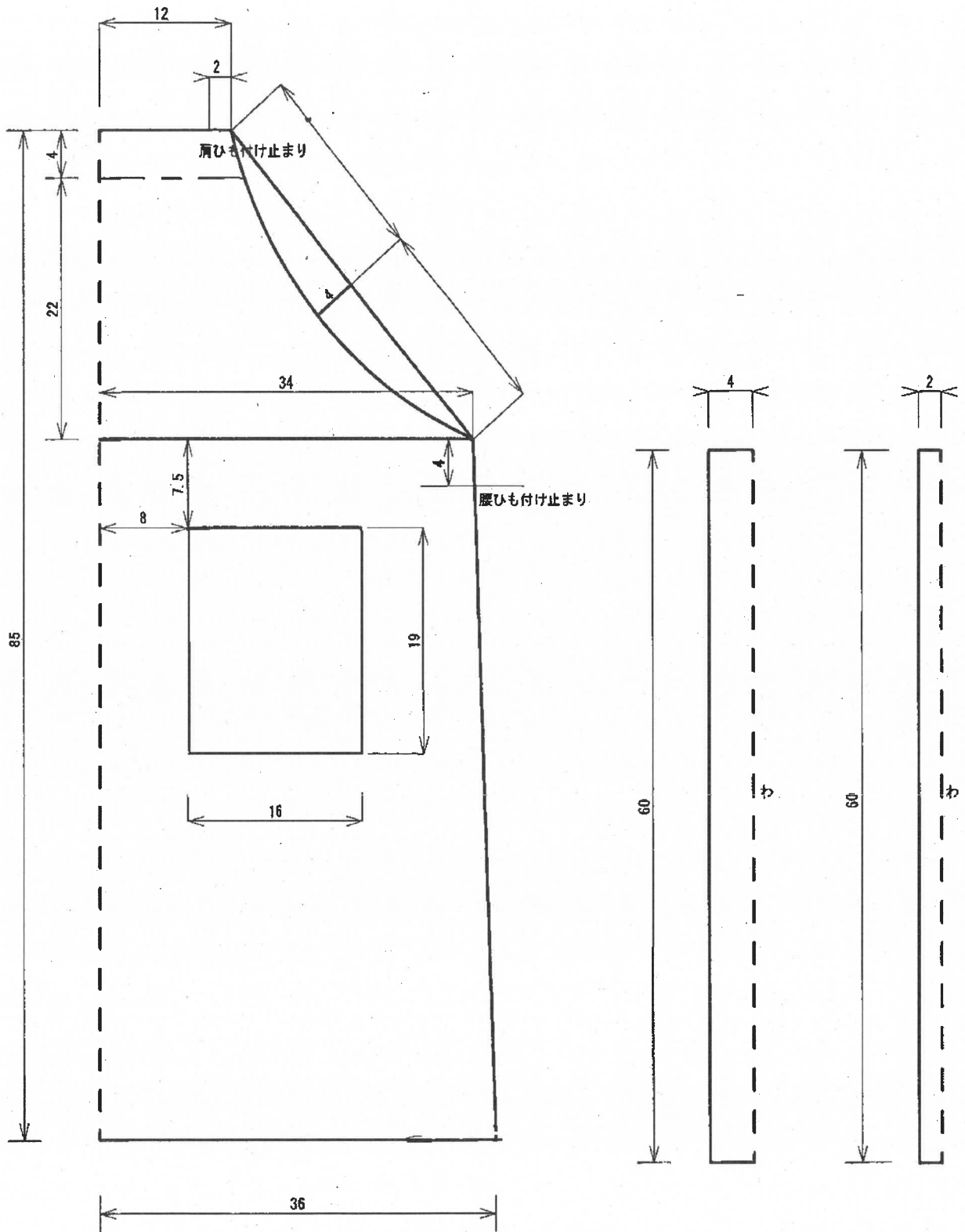
	品名	規格	数量	備考
1	作業台		1 台	
2	ミシン	職業用 本縫い 自動糸切付きミシン	1 台	
3	ポビンケース	職業用	1 個	
4	ポビン	職業用	2 個	(下糸巻き済み)
5	ミシン針	# 11		工業用ミシン針
6	アイロン	家庭用 スチームアイロン	1 台	(水分補充用ペットボトル)
7	アイロン用敷布		1 枚	
8	表地	綿ブロード	1 枚分	裁断済み 袖ぐりバイアステープ ロック済み
9	ミシン糸	化繊糸 #60	1 巻	

注 1 使い慣れたミシン、アイロンを使用希望の方は持込み可能です。

なお、ミシン持ち込みの場合はポビン、ポビンケース、ミシン針は

各自で用意下さい。

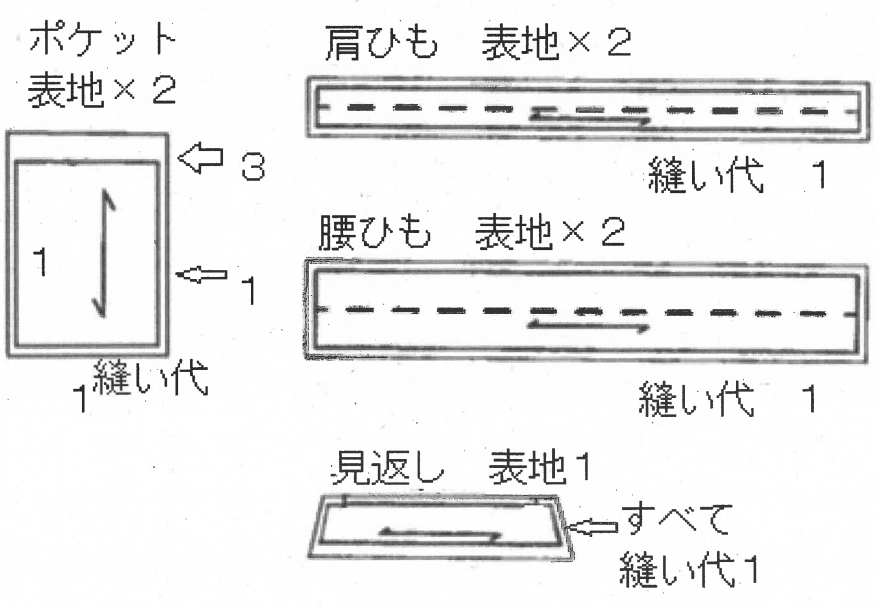
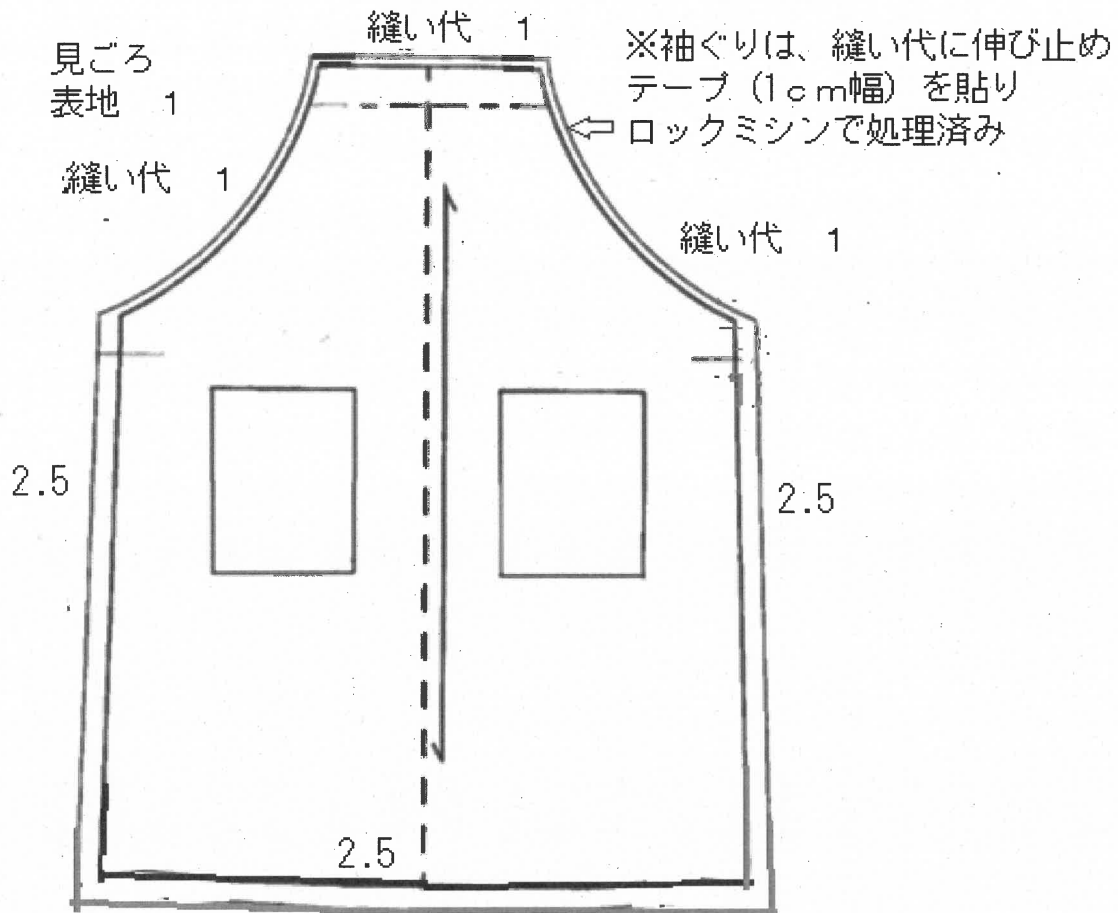
エプロン ぎのうきょうぎたいかいかだいせいず
 (技能競技大会課題製図)



すうじたんい
 数字単位 cm

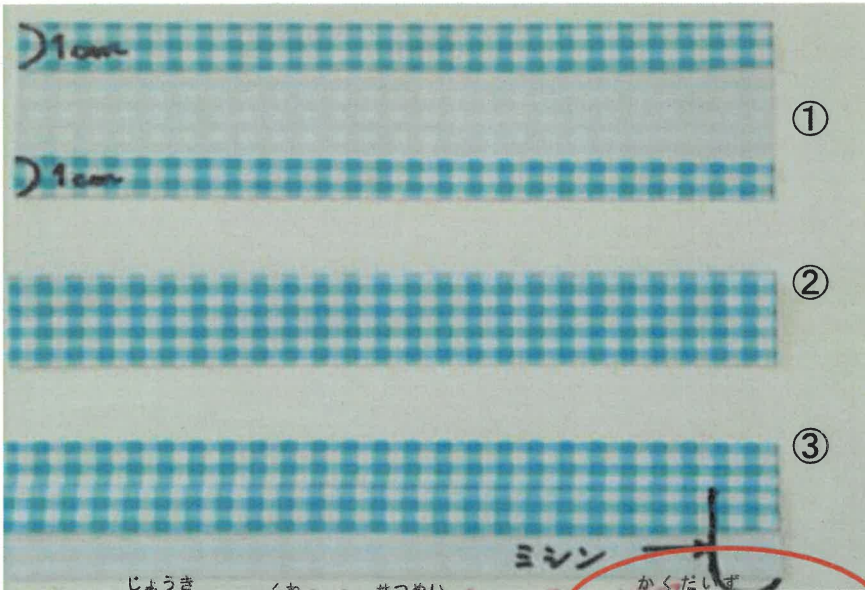
ぎのうきょうぎたいかいかだい ぬしろ
エプロン (技能競技大会課題 縫い代)

はいふ おもてじ すんぼう さいだん しょり
 *配布される表地はこの寸法で裁断、処理されています。



さんこうしりょう
参考資料

① ひもづくり (きれいに仕上げる一つの方法です。参考にしてください)



- こし 腰ひも、かた 肩ひもどちらも同じ
- ① ① 裏を上向きにし、長辺両端 1 cm アイロンで折る。
 - ② ② ①を外表に半分にアイロンで折る。
 - ③ ③ ②を広げ、表を中にしてはし端から 1 cm のところにミシン。

じょうき 上記③の詳しい説明

かくだいず 拡大図

②の広げ方は一方の端を中表に、

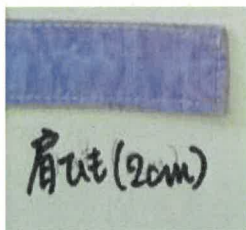
10 cm ほどひっくり返し 右図のように、

片方は広げ、片方は折り布端から 1 cm の

ところを縫う。ミシンのところで折り、アイロンをかけ、

ひもの角をしっかりと出して、形を整える。

※ 角はきれいに目打ちで出す。



④ ステッチをかける。

(ステッチは、「製作工程」

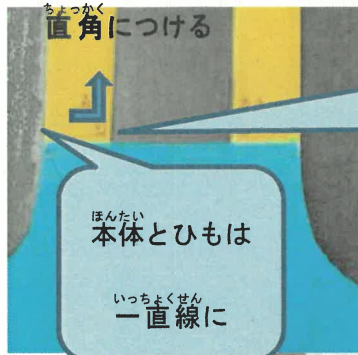
ひもづくりの図 参照)

※ できあがりの寸法をそれぞれ確認し、角は 90° になっていることを確認すること

②ひも付け (ひもをつけるところに、多くの注意点があります)

肩ひも付けの注意点

見返しとひもがつき、
表にかえしたとき

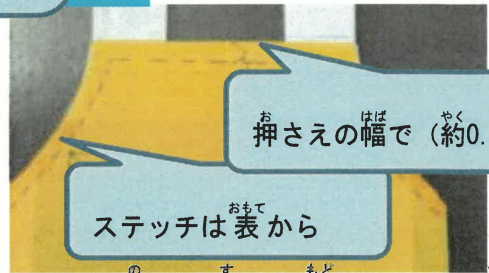


ひもはまっすぐに本体からでているか。

ステッチをかける前に、袖ぐりにしわなどなく、
きちんと落ち着いているかを確認する。

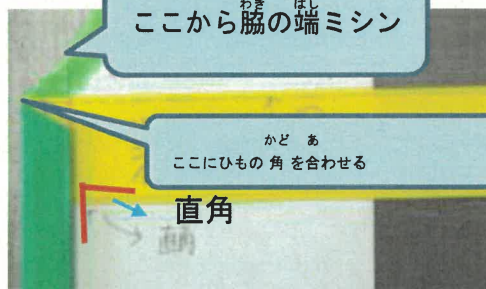
突っ張りやしわがあるときは、裏側の伸び止め

テープのところを、つまんで少し伸ばして落ち着かせる。(伸ばし過ぎは戻らないので注意)



腰ひも付けの注意点

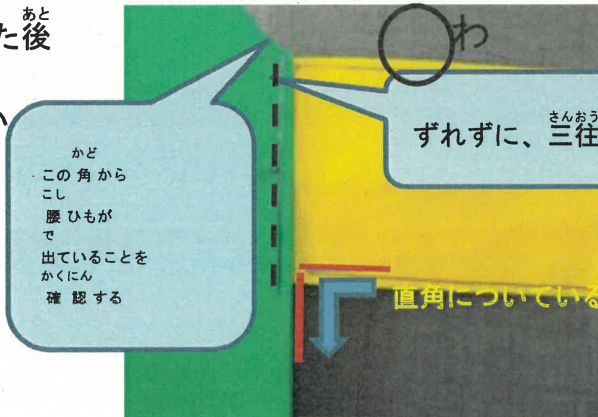
腰ひもを脇にはさんだときに
きをつけること



ひもを表に向けて、アイロンで整えた後

表からもひもがまっすぐついているか

を確認して、ステッチをかける。



「参考資料」は、課題を製作手順にそって作成するときご活用ください。